

博物館

1. 基本理念

- ・市民の創造性を高めます。
- ・郷土を大切に作る心を育みます。
- ・世代をつなぎます。
- ・歴史を未来に活かします。
- ・学校教育をより豊かなものにします。

2. 施設の概要

・名称	四日市市立博物館	
・所在地	四日市市安島一丁目3番16号	
・開館年月日	平成5年11月1日	
・敷地面積	1,845.840 m ²	
・建設面積	1,590.397 m ²	
・延床面積	10,147.108 m ²	
・建物構造	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下2F、地上6F	
・主な室名と面積		
展示・教育部門	2,156.155 m ²	
常設展示室	2 F	564.691 m ²
常設展示室	3 F	454.618 m ²
特別展示室	4 F	594.798 m ²
ラウンジ	2～4 F	281.020 m ²
情報コーナー	1 F	118.810 m ²
講座室	1 F	142.218 m ²
収蔵部門	1,256.230 m ²	
収蔵庫①	B 2 F	243.290 m ²
収蔵庫①前室	B 2 F	38.880 m ²
収蔵庫②	B 1 F	282.170 m ²
収蔵庫③	B 1 F	384.496 m ²
収蔵庫③前室	B 1 F	76.086 m ²
荷解室	1 F	231.308 m ²
研究部門	430.207 m ²	
作業室	2 F	60.464 m ²
資料整理室	B 1 F	84.370 m ²
文献資料室	3 F	37.952 m ²
資料評価室	4 F	33.300 m ²
くん蒸室	B 1 F	43.070 m ²
スタジオ暗室	B 1 F	87.510 m ²
ビデオ編集室	B 1 F	16.882 m ²
会議室②	4 F	37.952 m ²
会議室③	3 F	28.707 m ²
プラネタリウム部門	1,714.282 m ²	
客室（ドーム）	5 F～6 F	565.017 m ²
天文学習室	5 F	59.081 m ²
天文展示コーナー	5 F	194.763 m ²
プラネタリウム事務室	5 F	59.326 m ²
空調機械室	5 F～6 F	836.095 m ²
管理・一般部門	4,590.234 m ²	
事務室	3 F	105.059 m ²
館長室	2 F	37.001 m ²



会議室①	2 F	50.422 m ²
ミュージアムショップ	1 F	28.723 m ²
警備室	1 F	20.812 m ²
中央監視室	B 2 F	44.064 m ²
設備機械室	B 2 F	486.190 m ²
電気室、発電機室		240.152 m ²
倉庫、展示備品庫など		3,577.811 m ²
プラネタリウム		1,714.000 m ²
ドーム径 18.5m 傾斜型（傾斜度 20度）		
座席	155 席	
ヘリオス		
全天周映画	可能	

3. 展示等事業

(1) 常設展示

博物館の常設展示は、基本テーマ「伊勢湾（うみ）と鈴鹿山脈（やま）のある四日市の文化と生活環境」をもとに地質時代から現代に至る「四日市のあゆみ」をその時代ごとの特色を生かし、テーマ1～テーマ6に分けて展示する。

各テーマのスペースでは、そのテーマのメインとなる展示とその他の詳細な展示に分け、展示資料に応じて実物や複製品、情景模型のほか映像や図表などで表現している。

また、文化勲章受章作家で、四日市市名誉市民の丹羽文雄の業績を永く伝えていくため丹羽文雄記念室を常設する。

・テーマ1 北勢地域のおいたちと自然環境

テーマ展示では、本市平津町で発見されたアケボノゾウの臼歯の化石とその全身骨格の復元模型を展示している。

詳細展示では、「自然のすがた」「大地のおいたち」「化石は語る」など現在までの伊勢湾や鈴鹿山脈、伊勢平野の地形と地質の成り立ちや自然環境の様子を展示している。

・テーマ2 原始・古代の人びとの生活

テーマ展示では、縄文・弥生・奈良各時代の集落の様子や古墳時代の前方後円墳の築造過程を情景模型で展示している。

詳細展示では、「石器を使った人びと」「土器を使った

人びと」「米づくりと青銅器の製作」「大和朝廷と北勢地域」「古墳の築造と渡来人の活躍」「律令国家への道」など、旧石器時代から縄文・弥生・古墳・飛鳥・奈良時代を経て平安時代までの人々の生活の様子を展示している。

・ **テーマ3 『四日市』と『四日市庭浦』の成立**

テーマ展示では、市名の由来となった中世後期の市や町並みの様子を推定復元し、情景模型で展示している。詳細展示では、「中世の武士と商人」「伊勢湾諸湊と四日市庭浦」「くらしと生活用具」「いのりと信仰の世界」など、「四」のつく日に定期的に市が開かれて、『四日市』の名称が起こったこと、伊勢湾の水運にも『四日市庭浦』が重要な役割を果たしたことを中心に鎌倉時代から安土桃山時代までの様子を展示している。

・ **テーマ4 東海道と伊勢参宮道の賑わい**

テーマ展示では、情景模型に映像を内蔵した特殊映像装置を用い、東海道と伊勢参宮道の分岐点である日永の追分の賑わいを再現している。詳細展示では、「近世への胎動」「宿場と東海道」「四日市湊と町の展開」など四日市が東海道五十三次の四十三番目の宿駅として、また日永が伊勢参宮道との分岐点として発展してきた江戸時代の様子を展示している。

・ **テーマ5 四日市港と近代産業の発展**

テーマ展示では、大正時代の市中心部の装置模型や旧四日市港の潮吹き堤防の情景模型を展示している。詳細展示では、「みなとの整備」「近代のくらしと社会」「地場産業と近代産業」など本市の近代化の大きな礎となった四日市湊の改修と機械生産の技術導入による製糸をはじめ製茶、製網、製油、萬古焼の地場産業に焦点を当て、また、幕末、明治以降から市制を施行し次第に市域を拡大していく昭和初期までの近代の様子を展示している。

・ **テーマ6 戦災からの復興と都市の創造**

テーマ展示では、本市の重要な産業である石油化学工業を映像や装置模型で展示している。詳細展示では、「戦後のあゆみ」「港湾産業都市としての再生」「石油化学工業」「四日市港の輸出入」など。また情景模型に映像を内蔵した特殊映像装置を用いて甚大な被害をもたらした四日市空襲とその後の復興を再現するとともに、産業都市として再生してきた現代の様子を市民生活と産業の二つの視点から取り上げている。

・ **コーナー展示 浮世絵四日市・四日市祭り**

四日市が描かれた浮世絵と、戦前には「東海三大祭り」のひとつに数え上げられた四日市祭りの代表的な山車や練り物を縮尺1/20と1/40の復元模型で展示している。

・ **丹羽文雄記念室**

文化勲章受章作家で、四日市市名誉市民の丹羽文雄(平成17年4月逝去)の足跡と業績を紹介している。丹羽作品の初版本や豪華本を始め、芸術家のための健康保険組合の創設、「文学者之墓」の建立など、文学者の社会的地位の向上に尽力し、日本文藝家協会理事長を長く務め

た功績などを展示している。

また、20数年にわたって丹羽が私費を投じて刊行した雑誌「文学者」の同人たちが集った丹羽邸応接間も再現されている。

(2) 特別展・企画展

①「木とあそぼ！ー親子で楽しむふれあいランドー」展	
会 期	平成 21 年 4 月 25 日(土)から 6 月 14 日(日)までの 45 日間
観 覧 料	一般 700 円 高・大生 500 円
入館者数	5,526 人

②「フェアブル昆虫記の世界」展		
会 期	平成 21 年 6 月 27 日(土)から 8 月 30 日(日)までの 56 日間	
観 覧 料	一般 600 円 高・大生 400 円	
入館者数	9,733 人	
ワークショップ	8 月 27 日	「昆虫ペーパークラフト」
ワークショップ	8 月 28 日	「流木モビール」
ワークショップ	8 月 29 日	「夏休み宿題教室」

③「包むこころ ふろしき」展		
会 期	平成 21 年 9 月 19 日(土)から 11 月 8 日(日)までの 45 日間	
観 覧 料	一般 700 円 高・大生 500 円	
入館者数	2,794 人	
ワークショップ	9 月 19 日	「今だから、ふろしきライフ」山田悦子
講演会	10 月 3 日	「風呂敷の歴史と文化 絵巻物や文献から人々の姿を 探る」深澤琴絵
ワークショップ	10 月 24 日	「今だから、ふろしきライフ」 (2回) 山田悦子

④「古代朝明の風景—久留倍官衙遺跡展」		
会期	平成21年12月5日(土)から 1月24日(日)までの38日間	
観覧料	一般 300円 高・大生 100円	
入館者数	2,098人	
講演会	1月16日	古代の役所のたてもの 島田敏男

⑤「内藤ルネ ロマンティックよ、永遠に」展		
会期	平成22年2月13日(土)から 3月22日(月・祝)までの33日間	
観覧料	一般 800円 高・大生 500円	
入館者数	4,805人	
講演会	2月20日	「<カワイイ>文化を考える」 香山リカ

⑥『第51回北勢高校美術展』		
会期	平成22年2月2日(火) から7日(日)までの6日間	
入館者数	476人	

(3) 特別陳列・学習支援展示

学習支援展示

①大昔の四日市— 弥生時代と古墳時代—	4月18日(土) ～6月7日(日)	サルビアギャラリー・ 3Fロビー
②四日市空襲と 戦時下の暮らし	6月13日(土) ～8月30日(日)	サルビアギャラリー・ 3Fロビー
③四日市の焼物・ 萬古焼	10月17日(土) ～12月6日(日)	サルビアギャラリー
④むかしの暮らし	12月19日(土) ～3月22日(月・祝)	サルビアギャラリー・ 3Fロビー 市民ギャラリー・ 2Fロビー

4. 教育普及事業

(1) 「文学にであう」(一般対象、4回)

テーマ：三重の文学者たち

講師：鈴鹿市文化財調査会会長 衣斐 弘行

日時：平成21年7月4日、11日、18日

平成21年8月22日(各回とも土)

申し込み者数 64人(延参加者 170人)

(2) 子ども博物館教室

①ワークショップ(全6回)

[場所：講座室及び館内]

5月23日	土	木とあそぼ!	当館指導主事 野口 裕
6月20日	土	四日市空襲の おはなしを聞こう	
7月18日	土	博物館を 探検しよう!	当館学芸員 廣瀬 毅
7月25日	土	きみもフェアブルだ	
9月26日	土	何でも包む 魔法のふろしき?	
2月21日	日	めざせ一流 デザイナー!!	

②古代米づくりと土器づくりシリーズ(全7回)

5月9日	土	田植え	当館学芸員 廣瀬 毅
6月6日	土	土器づくり	
7月11日	土	田の草取り	当館指導主事 野口 裕
8月8日	土	土器の野焼き	
10月10日	土	石包丁で稲刈り	
10月31日	土	たて杵と臼で脱穀	
11月21日	土	土器で炊飯	

③むかし体験シリーズ(全6回)

1月17日	日	暮らしの道具を つかってみよう	当館指導主事 野口 裕
2月6日	土		
1月24日	日	昭和っ子の あそびをしよう	当館学芸員 廣瀬 毅
2月20日	土		
1月30日	土	おやつをつくろう	
2月27日	土		

(3) ミュージアムセミナー

月 日	演 題	講 師
10月17日	江戸時代の設計者 藤堂高虎	藤田 達生
12月12日	壬申の乱と四日市	山中 章
2月13日	齋宮と妖(あや)かし の時代	榎村 寛之

(4) ミュージアム体験

月 日	内 容	講 師
6月20日(土)	世界に一匹、自分だけの昆虫を作ろう	石田 昇三
9月12日(土)	ふろシックで、シックな暮らしをしませんか	鈴木田 美和子
11月7日(土)	萬古焼に挑戦	野口 裕
12月19日(土)	古代土器復元体験	清水 政宏 (社会教育課)

(5) 教員のための体験的博物館研修

8月19日	水	教員のための 体験的博物館研修	当館企画普及係 職 員
-------	---	--------------------	----------------

(6) 博物館実習（大学生・大学院生対象）

7月28日(火)～7月31日(金) 共通実習
8月1日(土)～8月30日(日) 個別実習
受講生27人(17大学)

5. 資料収集・保存

(単位：件) (平成22年3月末現在)

1	区 分	実 物・標 本	模 型 複 写
人 文 学 資 料	(1)考古	896	29
	(2)美術工芸	2,543	10
	(3)民俗	3,809	10
	(4)歴史	7,868	37
	(5)文学	4,568	0
	計	19,684	86

2	区 分	実 物・標 本	模 型 複 写
自 然 科 学 資 料	(1)動物資料	0	0
	(2)植物資料	3,272	0
	(3)地学資料	93	2
	(4)理工学資料	0	0
	(5)天文資料	7	0
	(6)その他の資料	0	1
	計	3,372	3

6. プラネタリウム事業

季節番組を2種類(家族向けと一般向け)に分けての放映方式を継続・充実させた。一般向け3番組のうち2番組を自主企画で制作し、50分間のフルライブ解説とした。また、通年番組として好評であった、星空をゆっくりと楽し

む星座神話番組「神話の星めぐり」を、毎月季節の星座や代表する星座の神話などを、内容を替えてライブ解説した。

また、市民が天文・科学をより詳しく学習する機会として、「宇宙塾」を年4回実施した。その他、聴覚障害者にも配慮した字幕付き投映、園児や児童を対象とした学習投映、各種コンサートを実施した。

天文普及活動では、世界天文年と関連をもたせた番組や展示、観望会を実施した。また、子ども科学教室、少年自然の家との連携事業、小・中学校との連携による授業など各種の事業を実施し、幅広く天文の普及に努めた。

I プラネタリウム投映事業

(1) 季節番組

冬春番組

①平成21年1月31日(土)～5月31日(日)
(一般)「ガリレオーその時地球が動いたー」
(家族)「はだかのおうさま月へいく」

夏番組

②平成21年6月6日(土)～9月27日(日)
(一般)「なるほど!ザ・太陽」
(家族)「忍たま乱太郎～天狗の秘密と消えた太陽の段～」

秋冬番組

③平成21年10月3日(土)～平成22年1月31日(日)
(一般)「葉っぱのフレディ 生命の星のものがたり」
(家族)「銀河鉄道999 星空はタイムマシーン/太陽系恐竜絶滅篇」

冬春番組

④平成22年2月6日(土)～5月30日(日)
(一般)「宇宙への挑戦ー日本のロケット開発ー」
(家族)「まじめににふまじめ かいけつゾロリ 宇宙たんけん 大さくせん おうごんの星をさがせ編」

星座神話番組 神話の星めぐり

⑤平成21年4月1日(水)～平成22年3月31日(水)

4月 かみのけ座特集	10月 みずがめ座特集
5月 かみのけ座特集	11月 うお座特集
6月 てんびん座特集	12月 おひつじ座特集
7月 さそり座特集	1月 おうし座特集
8月 いて座特集	2月 ふたご座特集
9月 やぎ座特集	3月 かに座特集

(6月からは12星座物語)

※ 上記①～③の番組については、各1回字幕付き投映を実施(④は22年度に実施予定)

(2) 学習番組(団体利用投映)

・平日の午前 ①10:00 ②11:00
・保育園、幼稚園、小・中学校、高校等の団体対象
・季節の星座を中心に、年齢・学年に応じた、生解説による
双方向型の学習用プラネタリウム

※ 10:30の回は、家族向け番組「銀河鉄道999」を放映

＜季節番組・学習番組の放映時刻＞

平日 (午前は団体のみ)	学習 10:00 11:00	一般向け 13:20	一般向け 14:40	
土曜日 春夏秋冬休みの 平日	家族向け 10:30	家族向け 13:20	一般向け 14:40	一般向け 16:00
日曜日・祝日 春夏秋冬休みの 土・日・祝日	家族向け 10:30	家族向け 13:20	一般向け 14:40	家族向け 16:00

(3) 特別番組

<p>「宇宙塾」～天文楽しませんか?～ (全4回)</p> <p>・天文学最前線で活躍中の研究者を講師として迎えて、最新の話題や実験質問、体験講座を織り交ぜた、プラネタリウム特別版</p> <p>・16:30～18:00</p> <p>①平成21年5月6日(祝・水)「ガリレオのおもしろ実験教室」 講師:神戸大学 大学院教授 三浦 伸夫</p> <p>②平成21年7月18日(土)「日食の謎に迫る」 講師:天文研究家 浅田 英夫</p> <p>③平成21年11月28日(土)「赤外線宇宙を探る!」 講師:名古屋大学 名誉教授 佐藤 修二</p> <p>④平成22年2月20日(土)「宇宙農学のススメ」 講師:宇宙航空研究開発機構 教授 山下 雅道</p>

※ 教員研修会と兼ねて実施

<p>星空生演奏コンサート (全3回)</p> <p>・19:00～20:30</p> <p>①平成21年6月26日(金)「七夕コンサート」 演奏:ピッコロバイオリン</p> <p>②平成21年10月3日(土)「お月見コンサート」 演奏:チェンバロ</p> <p>③平成21年12月18日(金)「クリスマスコンサート」 演奏:マリンバアンサンブル</p>

<p>星空CDコンサート (全5回)</p> <p>・19:00～20:00</p> <p>①平成21年5月22日(金) 初夏の星と「11年目の」aiko 特集</p> <p>②平成21年8月7日(金) 真夏の星空と「B'z 特集」</p> <p>③平成21年8月8日(土) 真夏の星空と「B'z 特集」</p> <p>④平成21年10月30日(金) 秋の星空と「エンヤ特集」</p> <p>⑤平成22年3月5日(金) 早春の星空と「桜ソング特集」</p>

<p>クリスマス特別放映 (全4回)</p> <p>・10:30～11:20, 13:20～14:10, 14:40～15:30, 16:00～16:50 平成21年12月25日(金) アロマとクリスマスの北欧の風景とオーロラ映像を放映</p>

II 天文普及事業

<p>子ども科学教室 (全2回)</p> <p>①夏コース 日時:平成21年8月16日(日) 11:30～15:30 内容:科学工作(5種類) きらら号での木星観望会 19:00～20:30</p> <p>②冬コース 日時:平成22年2月14日(日) 11:30～15:30 内容:科学工作(1種類) きらら号での太陽観望会 15:30～17:00</p>

<p>公開観望会 (きらら号が出勤しない)</p> <p>・予定日数 4日(うち実施回数2日) ペルセウス座流星群と天の川観望会 日時:平成21年8月12日(水)、13日(木) 19:00～21:00 場所:星の広場(水沢町)</p>

<p>御在所ロープウェイとの連携事業</p> <p>予定件数 3件(うち実施回数1件) 御在所スターツアーズ 日時:平成21年9月20・21日(日・月(祝))1泊2日 活動場所:博物館プラネタリウム、御在所岳山上 宿泊場所:御在所岳山上「レストラン アゼリア」</p>

<p>少年自然の家との共催による観望会</p> <p>①アウトドアセミナー② 天文教育研修を兼ねて実施 ～手作りプラネタリウムの製作と星空観察会～ 日時:平成21年8月25日(火) 場所:少年自然の家</p> <p>②スペースキャンプ 2009「めざせ!ガリレオ博士」 ～プラネタリウム観望と探査ロボット工作、星空観察会～ JST地域活動支援事業からの支援で実施、きらら号も出勤 日時:平成21年12月19・20日(土・日)1泊2日 場所:博物館、少年自然の家</p>

<p>天文教育研修会</p> <p>・教育センターなどと共催で、主に教員を対象</p> <p>①教職員新規採用者研修 平成21年5月7日(木) 講師:天文係</p> <p>②宇宙塾(4回) 平成21年5月6日(祝・水)、平成21年7月18日(土)、 平成21年11月28日(土)、平成22年2月20日(土) 講師:天文係</p>

③アウトドアセミナー②
平成21年8月25日(火)
講師:天文係

学校との連携授業

・市内、三重郡の小中学校を対象に、出前授業を実施

①バーチャル星空探検
平成21年9月～11月の火～金曜日
対象:小学校4年生
内容:月の動きやスペースシャトルと国際宇宙ステーションについて、立体映像装置を用いて学習する。
実施校数:22校(市内17校、三重郡5校)

②移動式プラネタリウム
平成21年11月～平成22年1月の火～金曜日
対象:中学校3年生
内容:星の日周運動や年周運動、太陽系、皆既日食などについて学習する。
実施校数:23校(市内18校、三重郡4校、その他1校)

7. 移動天文車「きらら号」事業

口径 20cm の天体望遠鏡を載せた移動天文車による星空観望会を実施した。天文ボランティアの方々の協力を得て、子どもから大人まで多くの人に実際の宇宙の姿を眺めていただいた。

(1) 派遣事業

要請により市内各地へ出動し、天文ボランティアの協力を得て観望会を行った。

「きらら号」稼動状況(派遣事業のみ)

稼動予定件数 48件
(うち派遣回数 28回、中止時の天文教室回数6回)
参加者数 3,049人
(うち中止時の天文教室参加者数 488人)
ボランティア数 延べ87人
※10月21日～3月31日までの観望会は、きらら号修理のため小型望遠鏡で実施。

(2) 主催事業

「きらら号」稼動状況(主催事業のみ)

稼動予定件数 29件(うち実施回数 21回)
参加者数 3,852人
ボランティア数 延べ106人

①月と土星を見よう!
日時:平成21年4月5日(日) 19:00～20:40
場所:市民公園(博物館前)

②サンデー太陽観望会
日時:平成21年5月10日(日) 9:45～15:00
場所:四日市ドーム

③月と土星を見よう!
日時:平成21年5月31日(日) 19:20～20:35
場所:桜地区運動広場

④月と土星を見よう!
日時:平成21年6月7日(日) 19:30～20:40
場所:富双緑地公園

⑤部分日食を見よう!
日時:平成21年7月22日(水) 8:00～12:30
場所:市民公園(博物館前)

⑥木星を見よう!
日時:平成21年8月16日(日) 19:00～20:35
場所:市民公園(博物館前)

⑦旧暦の七夕に星を見よう!
日時:平成21年8月26日(水) 18:45～20:10
場所:市民公園(博物館前)

⑧木星とオリオン座流星群を見よう!
日時:平成21年10月21日(水) 19:00～20:30
場所:伊坂ダム

⑨月と木星を見よう!
日時:平成21年10月23日(金) 18:00～19:45
場所:市民公園(博物館前)

⑩月と木星を見よう!
日時:平成21年11月23日(祝・月) 18:30～20:00
場所:パワーシティ四日市

⑪月と木星を見よう!
日時:平成21年11月28日(土) 18:30～19:55
場所:市民公園(博物館前)

⑫スペースキャンプ2009
日時:平成21年12月19日(土) 19:15～20:30
場所:少年自然の家

⑬月と木星を見よう!
日時:平成21年12月26日(土) 17:35～19:00
場所:パワーシティ四日市

⑭月と火星を見よう!
日時:平成22年1月23日(土) 18:25～19:50
場所:ジャスコ四日市尾平店

⑮月と火星を見よう!
日時:平成22年1月28日(木) 18:35～19:50
場所:ジャスコ四日市尾平店

⑯サンデー太陽観望会
日時:平成22年2月14日(日) 13:15～15:00
場所:市民公園(博物館前)

⑰月と火星を見よう!
日時:平成22年2月19日(金) 18:15～20:15
場所:イオン四日市北店

⑱月と火星を見よう！ 日時：平成 22 年 2 月 20 日（土） 18:15～20:00 場所：市民公園（博物館前）
⑲ISS臨時観望会 日時：平成 22 年 3 月 3 日（水） 18:15～19:35 場所：市民公園（博物館前）
⑳月と火星を見よう！ 日時：平成 22 年 3 月 19 日（金） 18:30～19:45 場所：日永カコー
㉑月と火星を見よう！ 日時：平成 22 年 3 月 20 日（土） 18:30～19:45 場所：日永カコー

※10月21日～3月31までの観望会は、きらら号修理のため小型望遠鏡で実施。

8. 開館時間等

開館時間

午前 9 時 30 分から午後 5 時まで

（ただし展覧会への入場は午後 4 時 30 分までに）

休館日

月曜日（休日の場合は翌日）及び年末年始

館内整備期間（9月上旬）

観覧料金

区分	博物館特別展示	プラネタリウム	プラネタリウム特別番組
一般	その都度定める額	530 円	その都度定める額
高大生		370 円	
小中生	無料	200 円	

※20名以上の団体は2割引 ※博物館常設展示は無料

施設利用

	9時30分～12時	13～17時	9時30分～17時
特別展示室 595㎡	—	—	31,500円
講座室 142㎡	8,400円	12,600円	21,000円
市民ギャラリー94㎡	—	—	2,100円

※観覧料等を徴収する場合は、100分の50を乗じて得た額を加算する。

※博物館の設置目的に反しないもの、事業に支障のないものに限る。

※商業宣伝、営業行為には使用できない

9. 月別観覧者数

月	常設展		特別・企画展		プラネタリウム			月計
4月	26日	896	5日	637	23日	61回	906	2,439
5月	28日	1,571	28日	3,160	26日	77回	2,008	6,739
6月	25日	2,089	15日	2,207	22日	84回	4,326	8,622
7月	27日	1,956	27日	3,428	27日	105回	7,150	12,534
8月	26日	3,440	26日	5,827	26日	106回	8,156	17,423
9月	18日	567	11日	494	16日	58回	1,501	2,562
10月	27日	1,452	27日	1,227	26日	88回	2,963	5,642
11月	25日	2,480	7日	1,073	25日	85回	2,732	6,285
12月	24日	731	20日	600	21日	68回	1,680	3,011
22年1月	24日	2,884	18日	1,498	22日	80回	2,836	7,218
2月	24日	2,798	14日	1,968	21日	72回	2,280	7,046
3月	26日	1,535	19日	2,837	23日	76回	2,000	6,372
合計	300日	22,399	217日	24,956	278日	960回	38,538	85,893

[参考]

過去3年間の観覧者数

年度	常設展		特別・企画展		プラネタリウム		合計人数
20	297日	28,781人	221日	38,347人	275日	36,900人	104,028人
19	297日	36,001人	219日	45,980人	275日	41,926人	123,907人
18	297日	30,978人	175日	33,098人	276日	35,264人	99,340人